

平成30年度「東京都統一体力テスト」の結果について①

平成31年3月19日
第6回教育委員会定例会
教育部指導課

I 調査の概要

1 調査目的

児童・生徒の体力が低下している状況に鑑み、立川市の児童・生徒の体力・運動能力及び生活・運動習慣等の実態を把握・分析し、経年的にその推移を調査することにより、児童・生徒の体力・運動能力等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、改善を図るとともに、取組を通じて、学校における児童・生徒の体力・運動能力等の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 実施時期及び人数等

【実施時期】平成30年4月～6月

【実施学年】小学校第1学年～第6学年
中学校第1学年～第3学年

【実施人数】立川市立小学生 8548人
立川市立中学生 3637人
合計 12185人

3 実施項目

- (1) 体力・運動能力に関する調査
新体力テストにより実施する。

小学校	中学校
握力	
上体起こし	
長座体前屈	
反復横跳び	
20mシャトルラン	20mシャトルラン 持久走 (選択)
50m走	
立ち幅跳び	
ソフトボール投げ	ハンドボール投げ

- (2) 生活・運動習慣等の実態に関する調査
生活・運動習慣等の実態に関する質問紙調査を実施する。

II-1 体力・運動能力調査の結果(上段：立川市 下段：東京都)

1 小中学生男子(都平均以上は太字ゴシック)

	小1			小5			中3		
	H28	H29	H30	H28	H29	H30	H28	H29	H30
握力(kg)	9.0	9.0	8.7	17.0	17.0	16.9	34.7	34.3	34.2
上体起こし(回)	10.8	11.1	11.5	20.5	20.2	20.8	30.2	30.1	29.4
長座体前屈(cm)	26.5	26.0	25.7	33.8	34.6	34.6	46.4	46.6	47.9
反復横跳び(回)	25.7	25.7	25.9	41.6	41.6	41.8	56.5	55.5	55.8
20mシャトルラン(回)	16.7	16.8	16.9	50.4	51.5	51.2			
持久走(1500m)(秒)							367.0	375.9	370.5
50m走(秒)	11.5	11.5	11.6	9.2	9.2	9.2	7.5	7.6	7.5
立ち幅跳び(cm)	108.8	111.0	107.1	151.1	154.1	153.8	209.4	208.7	211.0
ソフト(ハンド)ボール投げ(m)	7.9	7.7	7.3	21.7	21.4	21.0	24.0	23.0	23.1

2 小中学生女子(都平均以上は太字ゴシック)

	小1			小5			中3		
	H28	H29	H30	H28	H29	H30	H28	H29	H30
握力(kg)	8.3	8.2	8.1	16.4	16.6	16.7	25.6	25.1	25.6
上体起こし(回)	10.9	10.8	10.9	18.8	19.4	20.4	24.3	25.0	25.6
長座体前屈(cm)	28.7	28.7	28.3	38.4	39.0	38.7	47.1	47.7	48.2
反復横跳び(回)	25.1	24.5	24.5	39.0	39.6	40.2	47.7	48.3	47.9
20mシャトルラン(回)	13.6	13.6	13.9	36.9	39.9	40.8			
持久走(1000m)(秒)							293.1	288.3	287.8
50m走(秒)	11.9	11.8	12.0	9.5	9.5	9.5	8.7	8.8	8.6
立ち幅跳び(cm)	100.9	104.2	100.0	140.7	145.2	147.3	168.5	168.3	170.8
ソフト(ハンド)ボール投げ(m)	5.2	5.1	4.9	12.9	12.8	12.8	12.9	13.2	12.8

結果の分析と分析に基づいた学校経営・授業改善策

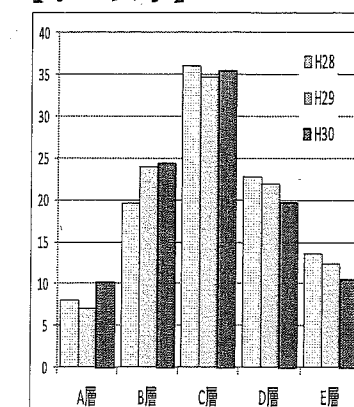
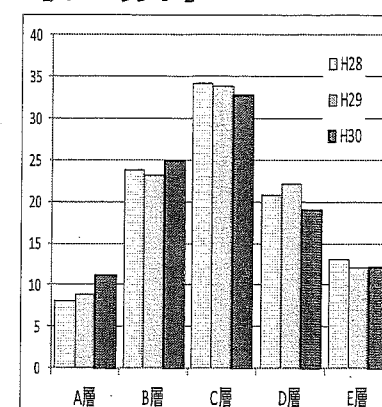
【分析】

- (成果①) 小1のA、B層の割合の増加。小5女子の都平均以上の種目の増加。中3男子はほぼ全ての種目で都平均以上。ほぼ全ての学年でD、E層の減少。各校での取組が体力向上につながっている。
- (成果②) 握力、上体起こし、長座体前屈、50m走がほぼ全ての学年で都平均以上。
- (課題①) 小5女子のD、E層の増加。体力合計点の低い児童の運動意欲が低下している。
- (課題②) 反復横跳び、20mシャトルラン(小学校)、立ち幅跳び、ボール投げ(小・中女子)が都平均以下。

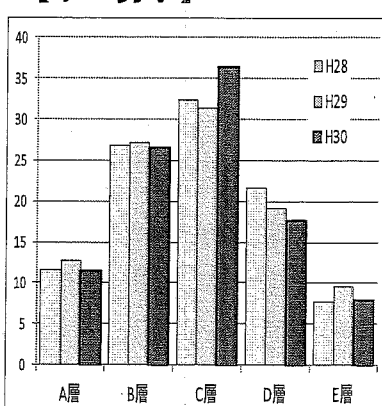
II-2 総合評価

体力調査の各項目の合計点を基にした総合評価の分布(平成28年度、平成29年度との比較)

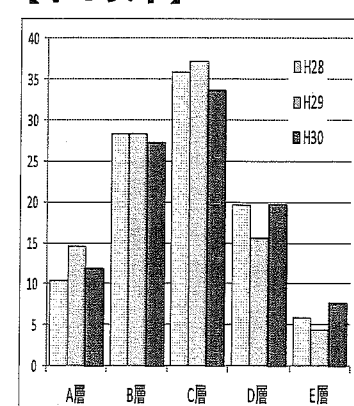
※体力合計点が高い順からA層→E層、縦軸は%
【小1男子】 【小1女子】



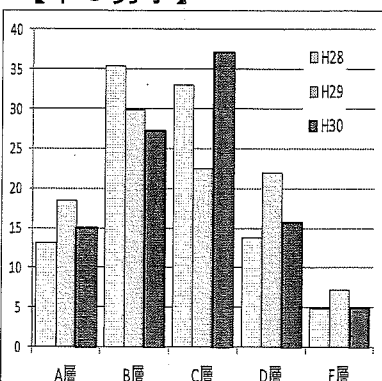
【小5男子】



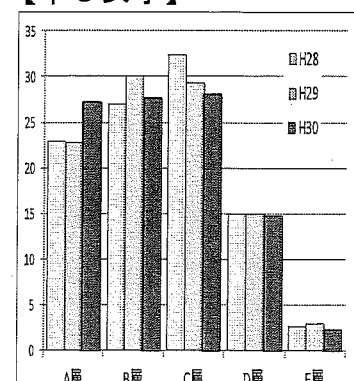
【小5女子】



【中3男子】



【中3女子】



【学校経営・授業改善策】

- 朝の時間、休み時間等を活用した体力向上月間や縄跳び週間等運動に親しませる機会の設定
- 体育館等の壁に的を貼り、自分のレベルに合わせて投げる距離を決めて取り組めるボール投げ等、友達と楽しみながらスモールステップで達成感を味わうことによって児童・生徒の意欲を高める取組の工夫
- ラインを踏み代わりに友達の手タッチする反復横跳び、レベルに合わせて複数の目標ラインに向かって挑戦する立ち幅跳び等の友達と楽しみながら体力向上につながる活動の充実
- マラソンカードに走った結果を記録しながら取り組むマラソン週間等意欲的に持久力を高めることのできる取組の継続

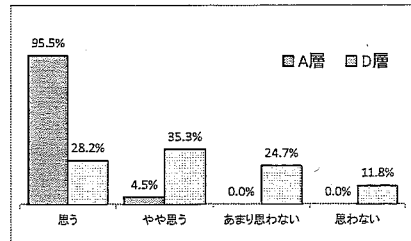
平成30年度「東京都統一体力テスト（東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査）」の結果について②

平成31年3月19日
第6回教育委員会定例会
教育部指導課

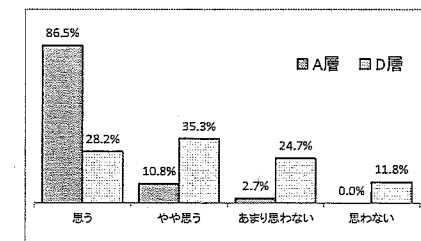
Ⅲ 児童・生徒の生活・運動習慣等と体力調査結果との関係

運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをもっとしたいと思いますか。

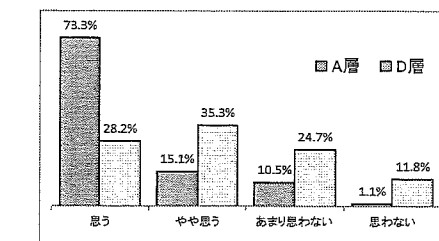
【小1男子】



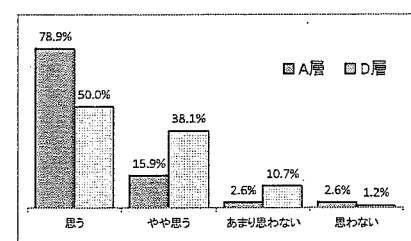
【小5男子】



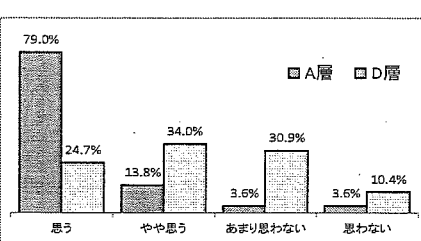
【中3男子】



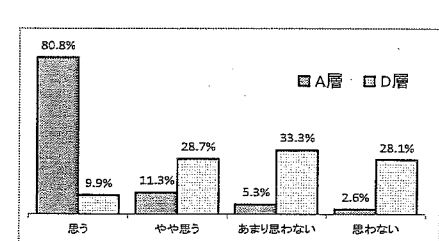
【小1女子】



【小5女子】

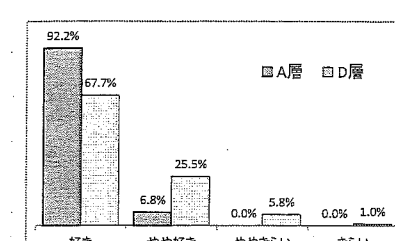


【中3女子】

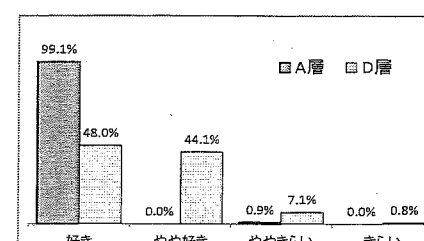


運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。

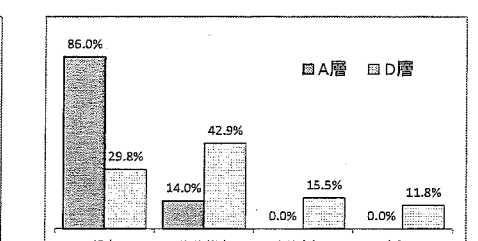
【小1男子】



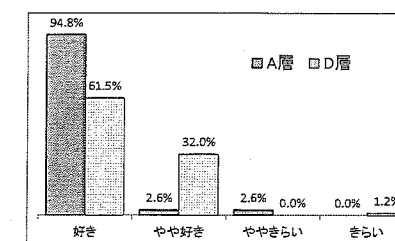
【小5男子】



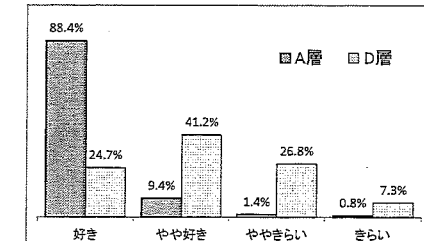
【中3男子】



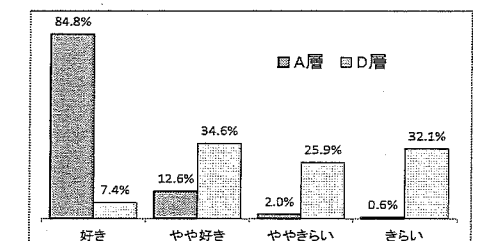
【小1女子】



【小5女子】



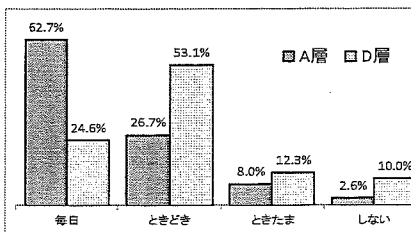
【中3女子】



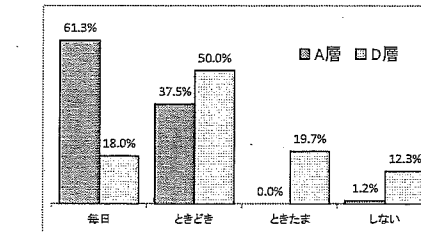
運動やスポーツをどのくらいしていますか。【学校の体育（保健体育）の授業はのぞきます。】

（毎日：週に3日以上 とときき：週に1～2日くらい ときたま：月に1～3日くらい）

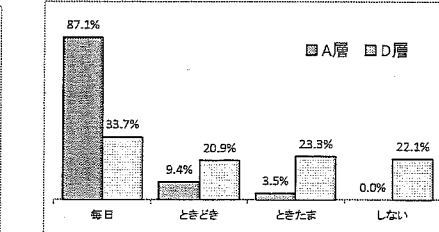
【小1男子】



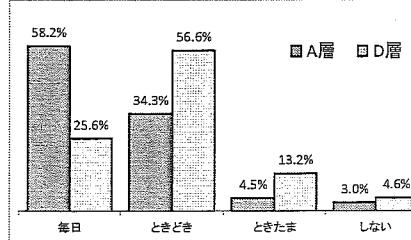
【小5男子】



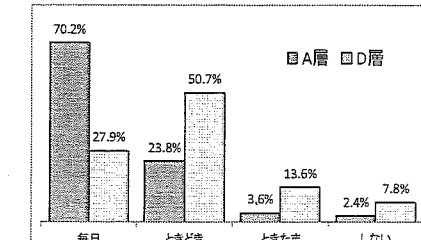
【中3男子】



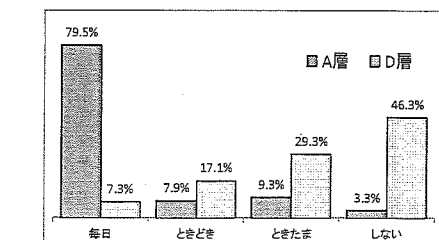
【小1女子】



【小5女子】

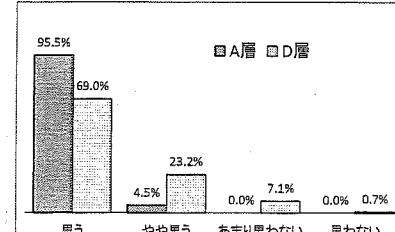


【中3女子】

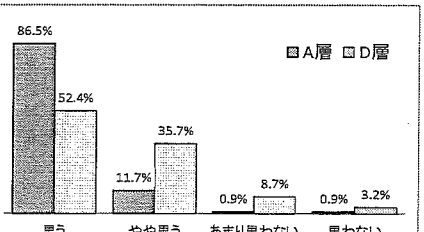


体育（保健体育）の授業は楽しいと思いますか。

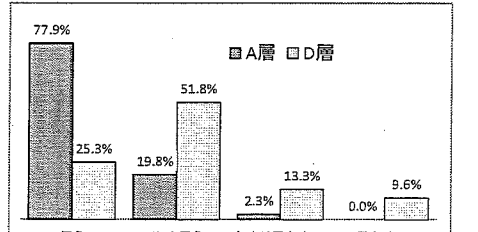
【小1男子】



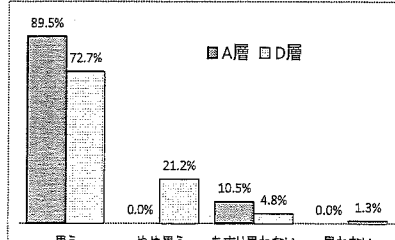
【小5男子】



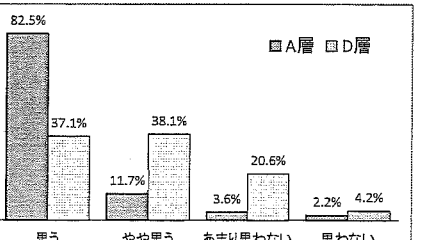
【中3男子】



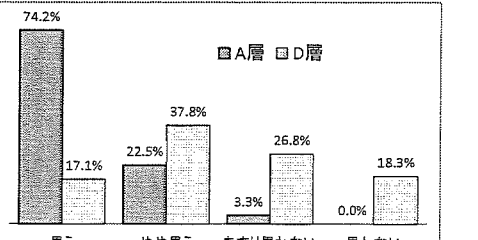
【小1女子】



【小5女子】



【中3女子】



結果の分析と分析に基づいた学校経営・授業改善策

【分析】

- （成果①）体力合計点が高い児童・生徒は、運動やスポーツに対する意欲が高い。特に小学生の約7割が週1～2日以上運動やスポーツを行っている。
- （成果②）体力合計点が高い児童・生徒は、運動やスポーツへの意欲より体育（保健体育）の授業への満足度が高い。体力合計点が高い児童・生徒が楽しめるような授業の工夫を行っている。
- （課題①）体力合計点が高い児童・生徒は、運動やスポーツに対する意欲も低い。体育（保健体育）の授業で取り組み、意欲をもった運動やスポーツを日常的に楽しめる時間や場所を提供する必要がある。
- （課題②）体力合計点の低い児童・生徒は、運動やスポーツへの意欲より体育（保健体育）の授業への満足度が低い。体力合計点の低い児童・生徒の児童・生徒も満足できるような体育（保健体育）の授業の工夫が必要である。



【学校経営・授業改善策】

- 校庭（体育館）での鉄棒、雲梯、タイヤ跳び等を活用した様々な運動を経験できるサーキット運動や長縄跳び等の短時間で楽しみながら運動やスポーツに日常的に親しむことのできる環境の整備
- ルールを易しくしたゲームや実態に合った練習の場の提供等、体力合計点の低い児童・生徒が楽しめるような工夫された体育（保健体育）の授業の継続
- 体力合計点の低い児童・生徒も満足できるような発展的な内容（C O S範囲を超え）を取り入れた運動やリーダーとして友達に助言、励ましをする中で満足感を得られるような授業改善

平成30年度「東京都統一体力テスト（東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査）」の結果について③

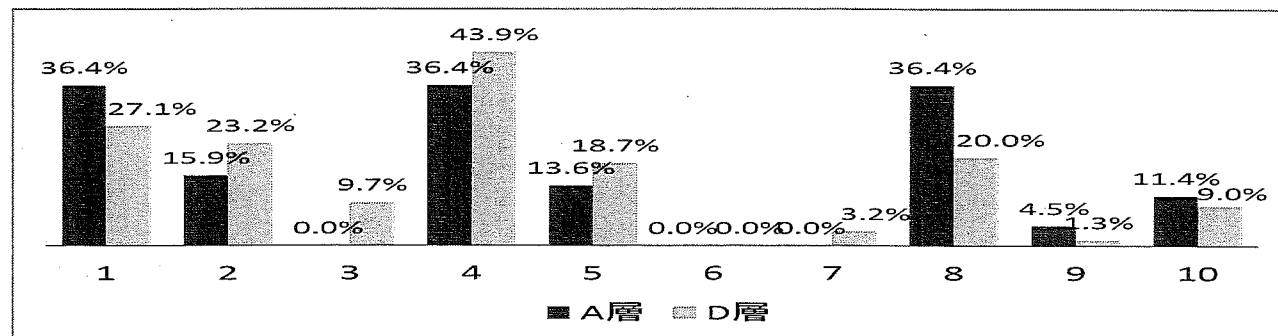
平成31年3月19日
第6回教育委員会定例会
教育部指導課

Ⅳ 児童・生徒の生活・運動習慣等と体力調査結果との関係

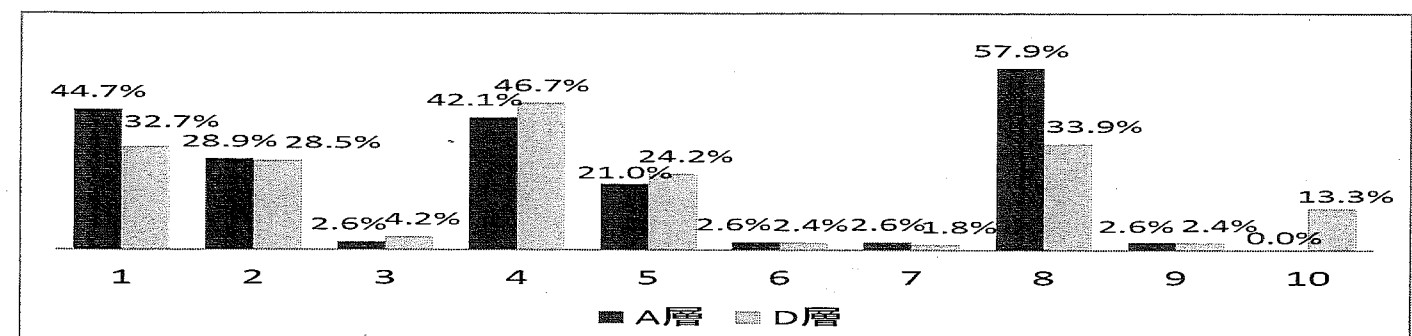
これまでの体育（保健体育）の授業で、「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか。あてはまるものすべて選んでください。

1	授業中に先生に個別にコツやポイントを教えてもらった	2	授業中に自分で工夫して練習した	3	自分に合った場やルールが用意された
4	先生や友達のまねをしてみた	5	友達に教えてもらった	6	授業中に自分の動きを撮影したビデオを見た
7	授業外の時間に先生に教えてもらった	8	授業外の時間に自分で練習した	9	授業外の時間に自分で本を読んだりビデオを見たりした
10	できるようになったことがない				

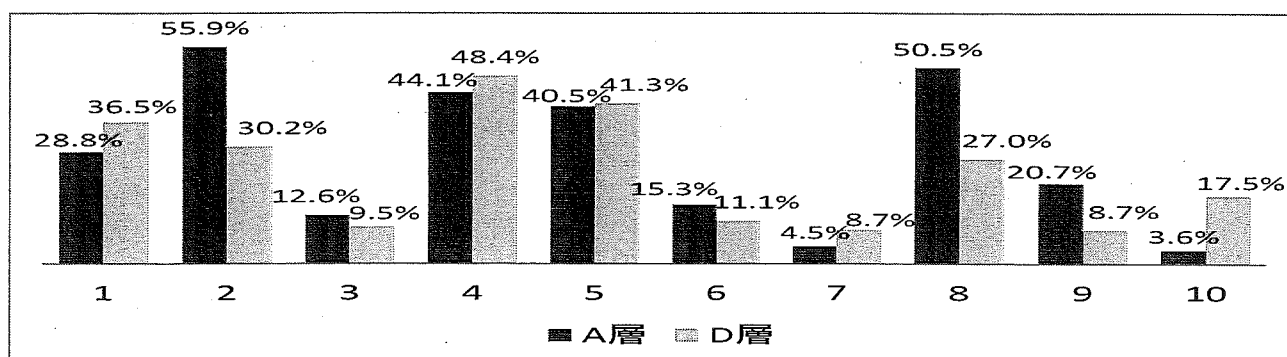
【小1男子】



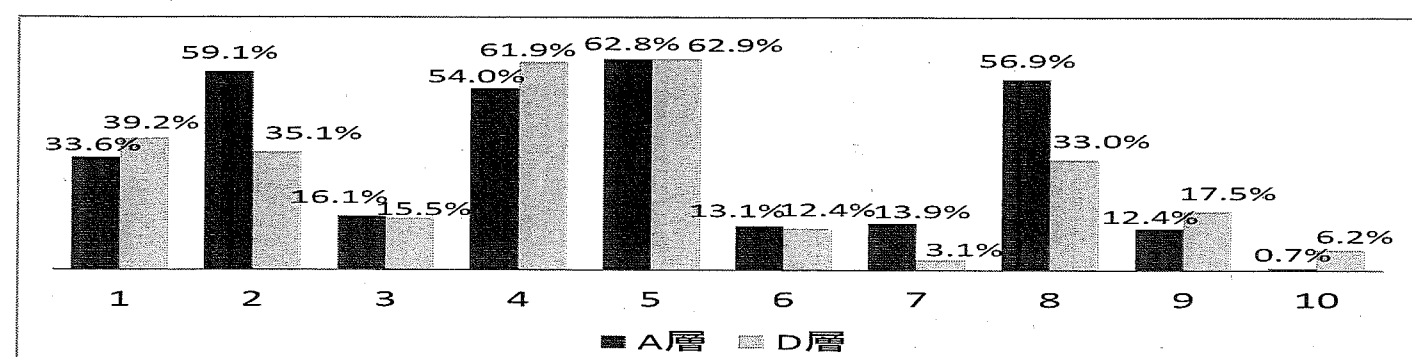
【小1女子】



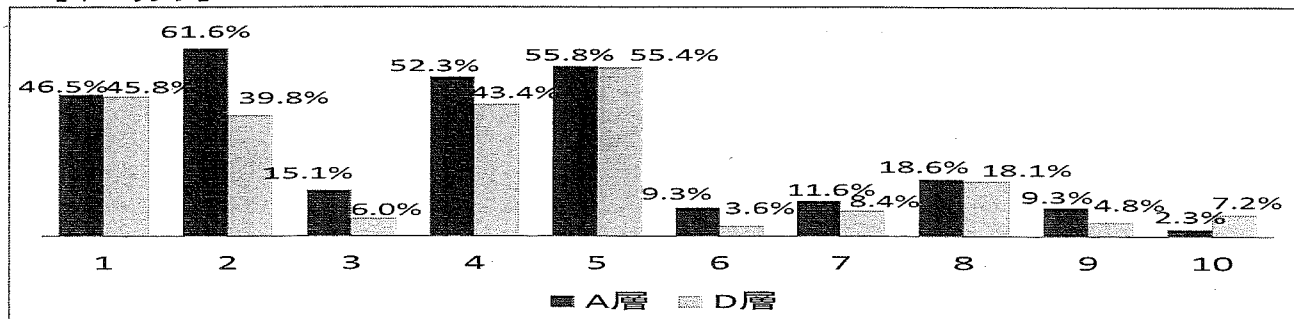
【小5男子】



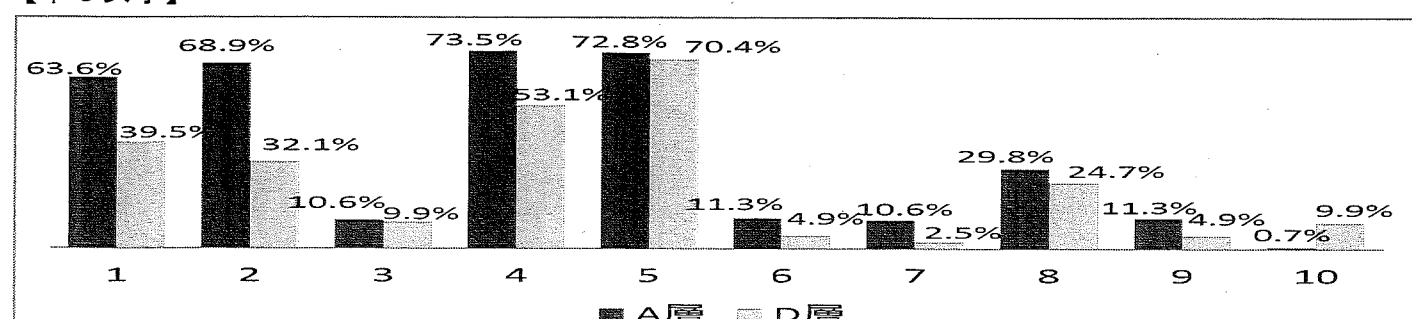
【小5女子】



【中3男子】



【中3女子】



結果の分析と分析に基づいた学校経営・授業改善策

【分析】※「体育（保健体育）の授業で、できなかったことができるようになったきっかけ・理由の中で割合の多いもの」

（小1）「授業中に先生に個別にコツやポイントを教えてもらった」「先生や友達のまねをしてみた」→教師との関わりによってできるようになることが多い。

（小5・中3）「先生や友達のまねをしてみた」「友達に教えてもらった」→友達との関わりによってできるようになることが多い。

（体力合計点の高い児童・生徒）「授業外の時間に自分で練習した」「授業中に自分で工夫して練習した」→体力合計点の高い児童・生徒は運動への意欲が高く、授業中や休み時間、放課後、休日等を活用して自分で練習している。

【学校経営・授業改善策】

- 小1では、全体での振り返り等でコツやポイントを共有し、賞賛・助言等個に応じた指導・支援。
- 小5、中3においては教師、友達による助言、励まし、賞賛の多い対話的な授業の工夫。
- ICTを活用する等、体力合計点の低い児童・生徒が自ら練習しようとする意欲を喚起し、自分で試行錯誤する時間を確保した授業の工夫。